

その一歩が、
未来を動かす。

大阪・関西万博「イベント」に参加しています

大阪・関西万博 発イベント ～ 阪神淡路大震災から30年「ABCグループ防災プロジェクト」～



朝日放送グループ 世界に発信する

「防災」の未来設計図

ABC Group A Future Vision of Disaster Prevention to Share with the World

朝日放送グループホールディングス株式会社（本社：大阪市福島区、代表取締役社長：西出将之）は、9/1（月・防災の日）～9/4（木）の4日間、大阪・関西万博会場で防災企画展示イベント「朝日放送グループ 世界に発信する『防災』の未来設計図」を開催します。このイベントは、ABCグループ防災プロジェクトの一環として開催し、万博会場内ギャラリーWESTの3つの展示スペースで、阪神淡路大震災取材映像を用いた企画展示や、各種シンポジウム、ABCラジオの公開収録などを行います。

記

開催概要

【イベント名】朝日放送グループ 世界に発信する「防災」の未来設計図

特設HP：<https://www.asahi.co.jp/bosai/event2025/>

【開催日時】2025/9/1（月）「防災の日」～ 9/4（木）

【会場】大阪・関西万博会場内、ギャラリーWEST

【主催】朝日放送グループホールディングス株式会社

【映像協力】朝日放送テレビ（株）、（株）サンテレビジョン、ANN系列各局

【企画制作】（株）アイネックス 【制作協力・シンポジウム企画】（株）エー・ビー・シーリブラ

【CG制作】CGCGスタジオ（株） 【運営】（株）マッシュ

【後援】兵庫県、神戸市、大阪府、大阪市、人と防災未来センター

企画主旨

阪神淡路大震災は、テレビが普及して初の大災害でした。避難所の取材も今より許され、多くの被災者インタビューが撮影されました。その時、街は、人は、暮らしはどうなったのか…。カメラ付き携帯電話もSNSも普及していない中、放送局が保有する震災の取材映像には、都市型災害の困難と教訓が多く含まれています。ABCグループはこれらの映像を「社会財」と考え、「阪神淡路取材映像アーカイブ」を一般公開（2020年）しています。今後、南海トラフ地震や首都直下型地震など、きたるべき大地震に備え、災害に強い地域づくりをめざして、阪神淡路大震災から30年となる2025年、過去の震災映像が伝える「教訓」を広く共有し、未来世代に伝えていく提案を万博から発信します。

コンテンツ詳細

【企画展示（第1展示室／屋外展示スペース）】

- ▶ **第1展示室：阪神淡路大震災の取材映像を用いた企画展示**・・・映像から得られる教訓を様々なアプローチで展開し、来場者と、過去の震災の記憶から未来の防災について考える空間を演出します。（詳細別紙）
- ▶ **屋外スペース：避難所デザインラボ**・・・避難生活にあったらいいものを、防災に取り組む各企業の皆様と共に展示します。

※震災アーカイブ「AI映像レコメンド機能」の初公開

本イベントの開催に合わせ、阪神淡路大震災取材映像アーカイブに、新たに「AI映像レコメンド機能」を装備予定です。阪神淡路大震災を経験、または記憶する人がいなくなった後もアーカイブが活用されるよう、曖昧な質問に対してもAIによって最適な映像の推薦を実現しようとする機能です。企画展示内でも来場者に触れて頂けるスペースを設けます。（本件詳細は別途リリース予定）

【シンポジウム（第2展示室）】 ※日替わりのイベントを開催

<以下、登壇者/出演は敬称略>

▶9/1（月・防災の日）ABC主催国際シンポジウム「災害を伝える：アーカイブとテレビ局の役割」

オープニングイベント。国内外のメディア関係者や映像アーカイブ管理担当者を招聘し、大災害の取材映像を未来にどう伝えていくか、その活用方法や防災意識向上への貢献について議論を深めます。

開催時間：午後1時～4時（予定）

形式：リアル・リモート併用のハイブリッド形式（会場席数50席） ※同時配信予定

主な登壇者：松岡由季（国連防災機関(UNDRR)駐日代表）
Natalia Ilieva（アジア・太平洋放送連合）
柴山明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）
Mirdal Akib（インドネシア Metro TV, Media Group CEO）
Viola Ulakai（トンガ放送委員会（TBC）CEO）
大石寛人（日本放送協会（NHK）メディアイノベーションセンター）
阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

▶9/2（火）ABCラジオ公開収録「ABCラジオぼうさい部 特番」

災害時に活躍するラジオであるために「ABCラジオぼうさい部」の取り組みを万博会場から発信します。

開催時間：午後1時～2時30分（予定）

出演：小縣裕介（ABCアナウンサー）、国崎信江（危機管理アドバイザー）ほか

▶9/3（水）朝日新聞社主催シンポジウム「世界遺産 法隆寺と文化財防災の未来」

～シルクロードの記憶が結び、新たな連携～

世界最古の木造建築である世界遺産・法隆寺をテーマに、文化財を災害から守る未来を考えるシンポジウム。シルクロードが紡いだ歴史を手がかりに、海外の事例も交え文化財防災への新たな連携策を議論します。

開催時間：午後2時～4時（予定）

主な登壇者：青柳正規（元文化庁長官・多摩美術大学理事長）
井上洋一（奈良国立博物館館長）
古谷正覚（法隆寺管長）

▶9/4（木）ドキュメンタリー「激震の記録」上映会

1995年夏に放送された報道ドキュメンタリー番組を再編集した「阪神淡路大震災 激震の記録」2020年版を上映します（全8本）

朝日放送グループのサステナビリティについて

<https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/index.html>



朝日放送グループは、優先して取り組むべき重要課題「マテリアリティ」のひとつとして「地球の健康を取り戻し次世代へつなぐ」を掲げ、命と暮らしを守る防災・減災報道の強化など様々な取り組みや情報発信を行っています。

以上



朝日放送グループ 世界に発信する

「防災」の未来設計図

ABC Group A Future Vision of Disaster Prevention to Share with the World

2025年9月1日(月・防災の日)～4日(木)

大阪・関西万博 ギャラリーWest

予約は不要です (万博会場への入場券は必要です)
展示内容は都合により変更する可能性があります



<https://www.asahi.co.jp/bosai/event2025/>

写真提供: 2025年日本国際博覧会協会

我が国にテレビが普及して初めて起こった大災害、阪神淡路大震災。一瞬にして変わり果てた街の姿、困惑する人々の言葉や表情、大切な人を救おうと奮闘する人々、被災者を支えようと集まったボランティア…テレビカメラは、大地震が引き起こしたあらゆることごとくを取材しました。

メディアがめまぐるしく変化する時代の流れのなかで、震災を映像で記録し、放送局という場所に集約できたのは、1995年だったから。インターネットの時代が到来した今はむしろ、プライバシーや著作権の問題で、それが難しくなっています。

しかし、すでに記録された映像には、南海トラフ・首都直下など、避けることのできない未来の大震災で活かせる教訓が数多く含まれています。だからこそ私たちは、それをテレビ放送だけに終わらせてはいけないと考え、放送局としてはあまり例のない、取材映像の大規模な公開に踏み切りました。

大阪・関西万博で実施する4日間のイベントは、この映像をどう未来につなげるかという私たちの提案であり、挑戦です。公開した映像は、社会に開かれた「公共財」です。この映像をどう受け継いでいくか一緒に「未来設計図」を描いていただけませんか？



きたるべき大地震… “その時”に活かせる教訓は映像の中にある！



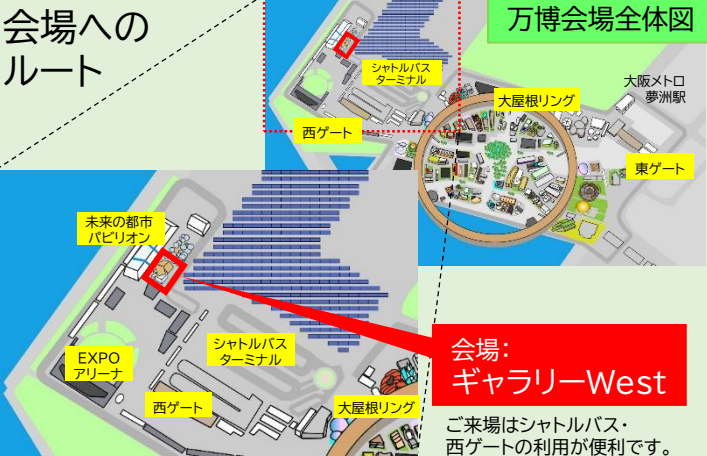
朝日放送グループホールディングス株式会社



大阪・関西万博「イベント」に参加しています

その一歩が、未来を動かす。

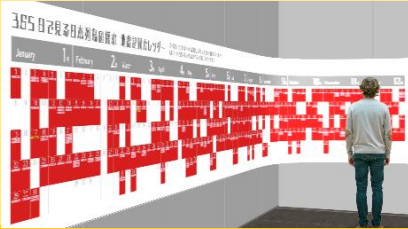
会場へのルート



会場: ギャラリーWest

ご来場はシャトルバス・西ゲートの利用が便利です。

災害のリアリティを感じる 防災・減災の学びを深める



日本の地震カレンダー

あなたの誕生日も、記念日も、過去に地震が起こった日も知れません。私たちの知らない、忘れてしまった災害がいかに多いかということを実感する展示です。



最新！ AIレコメンド機能体験

たとえ阪神淡路大震災を記憶する人がなくなった時にも役立つ震災アーカイブであるために、AIに質問すると、見たい映像、最適な映像を推薦してくれる仕組みを提案します。



VRドームシアター

大きな被害を受けたJR神戸線の六甲道駅を、当時の取材映像をもとに再現。復興した現在の駅も3D撮影し、復興プロセスを学べます。現実には立ち入ることができなかったところに入って被害を体感してみてください。

第1展示室 震災アーカイブ 企画展示



第2展示室 シンポジウム・公開収録

第2展示室では日替わりのイベントを行います。

9月1日(月・防災の日) 午後1時～ (同時配信予定)
国際シンポジウム「災害を伝える アーカイブと放送局の役割」
大きな災害取材した世界の放送局が集い、映像に含まれる教訓を未来に伝える工夫や取り組みについて議論し、情報を共有します。
主催：朝日放送グループホールディングス

9月2日(火) 午後1時～
ラジオ公開収録「ABCラジオぼうさい部特番」
災害時に活躍するラジオであるために、ABCラジオが取り組む「ABCラジオぼうさい部」の取り組みを会場から発信します。
出演：小縣裕介・国崎信江ほか 主催：朝日放送ラジオ

9月3日(水) 午後2時～
シンポジウム「世界遺産 法隆寺と文化財防災の未来」
～シルクロードの記憶が結び、新たな連携～
世界最古の木造建築である世界遺産・法隆寺をテーマに、文化財を災害から守る未来を考えるシンポジウム。シルクロードが紡いだ歴史を手がかりに、海外の事例も交え、文化財防災への新たな連携策を議論します。 主催：朝日新聞社

同時配信の詳細はイベントホームページから
会場の席数に限りがあります。満席の場合はご容赦下さい
イベント以外の時間帯は、ドキュメンタリー「激震の記録」を上映します。

屋外展示スペース 「避難所デザインラボ」

阪神淡路大震災の取材映像アーカイブに含まれた教訓に学んで、避難所や避難生活にあったらいいモノをご提供いただきました。ここに来れば、水、食糧、トイレ、灯り、睡眠、プライバシー、暑さ対策、連絡手段など、いざという時の備えや知恵がすべて揃います。災害用伝言ダイヤルを使ったゲームに参加して素敵な景品をゲットしよう！

 抗菌段ボール製トイレ 【関西ペイント】	 アルファ米 【尾西食品】	 ソーラー充電式ランタン 【ランドポート】	 非常用持ち出し袋 【ABCラジオぼうさい部】
 避難個室テント 【小林薬品】	 段ボールベッド 【Jパックス】	 ミストファン 【いけうち】	 災害時組み立て式 温水シャワー 【タニモト】
 調理用ポリ袋、携帯トイレ 【クリロ化成】	 折りたたみ式ヘルメット 【河本総合防災】	 避難所運営・備品レンタル 【ダスキレントール】	 災害用伝言ダイヤル 【NTT西日本】



被災者の声に聞く災害教訓

阪神淡路大震災取材アーカイブの特徴は、被災者のインタビューを聞けること。二次元コードを読み取ると、息づかいと表情で、リアリティーと教訓をしっかりと受け取ることができます。

イベントホームページ <https://www.asahi.co.jp/bosai/event2025/>

予約は不要です (万博会場への入場券は必要です)
展示内容は都合により変更する可能性があります

